

【研究課題名】

八重山諸島におけるサキシマハブ咬傷の後方視的検討

【研究の目的】

サキシマハブ咬傷は八重山諸島に特有の健康被害であり、地域の医療現場では一定数の対応が必要となります。本研究は、沖縄県立八重山病院を受診したサキシマハブ咬傷症例について、患者さんの背景、受傷状況、腫脹の程度（Grade分類）、治療内容（抗毒素使用・外科処置等）、転帰を診療録から抽出して解析し、サキシマハブ咬傷の疫学と臨床経過を明らかにすることを目的とします。得られた知見は、地域におけるサキシマハブ咬傷の発生状況と危険因子の把握ならびに診療体制の整備に資することが期待されます。

【研究対象】

2019年から2025年の間に、沖縄県立八重山病院を受診し、サキシマハブ咬傷と診断され治療を受けた方

【研究期間】

2025年4月1日から2026年3月31日まで

【研究実施場所】

沖縄県立八重山病院

【研究に利用する情報】

患者さんの診療録から、以下の情報を利用します。

- ・年齢・性別、背景疾患
- ・受傷状況（受傷場所・状況、受傷から受診までの時間等）
- ・腫脹の程度（Grade分類）
- ・治療内容（抗毒素使用の有無、外科処置の有無等）
- ・経過・転帰（入院の有無、合併症、治癒状況等）

【研究組織】

沖縄県立八重山病院 内科 西村 匡司

沖縄県立八重山病院 救急科 竹島 茂人

【研究に用いる情報に関して】

診療録から抽出した情報は、匿名化をおこない、個人を識別できないように十分配慮を行い研究に使用します。情報は研究責任者が厳重に管理を行います。情報は研究目的のみに使

用します。本研究は既存の診療録のみを用いるため、患者さんに新たな検査や処置を行うことはありません。本研究は沖縄県立八重山病院倫理委員会の承認を受けて実施します。研究の成果は、個人情報明らかにしないようにした上で学術集会や学術雑誌等で発表・公表を行います。

患者さんご自身もしくはご家族が、本研究に患者さんの情報を使用してほしくない場合は下記連絡先までご連絡ください。その場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

【お問い合わせ先】

沖縄県立八重山病院

内科 西村 匡司

救急科 竹島 茂人

(住所) 沖縄県石垣市真栄里 584-1

(電話) 0980-87-5557 (代表または直通)